

第30回全日本学生中国語弁論大会で
愛知県立大学外国語学部中国学科の学生が
京都外国語大学総長賞を受賞！

第30回全日本学生中国語弁論大会が平成28年11月26日（土）午後1時より京都外国語大学1号館7階ホールで行われました。本大会は今回で23回目、全国各地から中国語を学ぶ大学生20名（留学をしていない2,3年生）が集い、日頃の成果を競いました。

本学からは2年生が3名参加しました。その中でも、中国学科2年生の杉本雛乃さんが参加し、最も優秀な学生たちに与えられる、京都外国語大学総長賞を獲得しました。

杉本さんは『宝蔵（たからもの）』のタイトルで、1年生のときに参加したボランティアで、中国語をうまく使えなかったことをきっかけに、そこから奮起して、積極的に中国語学習に取り組み、中国語を学ぼうとしたらその材料はどこにでもある、街にある中国語はみな自分にとってのたからものだという話をしました。

この大会のスピーチは5分以内で、スピーチを覚えているだけではだめです。自分の言葉として、言いよどむことなく、感情をこめて読めなければなりません。中には途中で止まったり、最後まで話しきれなかった学生もいます。その中でも彼女は、これまでの練習の成果をこの場所で、遺憾なく出し切ることができました。また、質疑応答もしっかりとこなしました。

最後の審査員からの総評では、スピーチの内容の工夫が必要であるという指摘がありましたが、その中でも彼女のスピーチは自分のエピソードをしっかりと自分の言葉にして話したものだと感じます。また、入賞はしなかった学生もこの悔しさをバネに前進してくれることと思います。学生の大会参加にあたって、ご協力いただいたみなさまに心より感謝いたします。

中国語のコンテストはカラオケからスピーチまで種類も豊富です。学生でいるうちに自分が得意なものに参加して、度胸をつけてみませんか。自分を変える一つのチャンスだと思って、チャレンジしてみてもいいのではないでしょうか。

京都外国語大学総長賞（3名受賞）

○ 杉本 雛乃 愛知県立大学 外国語学部中国学科 2年生

詳しい結果は、京都外大 HP にも掲載されております。